お 知 ら せ

平成２９年１０月１６日
秋田河川国道事務所
(株)秋田建設工業新聞社

未来を担う中学生を対象とした現場見学会を開催
～見て、触れて、感じる　国道７号下浜道路を見学～

国土交通省が事業を進めております、国道７号 下浜道路において、豊岩中学校１年生９名を対象とした、「現場見学会」を行います。
建設業界においては、近年の少子化も相まって担い手不足が年々深刻化し、若い世代の入職・定着が重要課題となっております。
こうした中、さらに若い世代である中学生を対象に、実際の工事現場の見学を通して、土木建設の社会的な役割や仕事の魅力を感じていただき、興味・関心を抱いていただくことを目的に実施するものです。

１．日　　時：平成２９年１０月１９日(木)　１０：００～１１：３０

２．場　　所：国道7号 下浜道路 工事現場
羽川地区こ道橋下部工工事 現場（秋田市下浜羽川字浜稲場地内）
下浜羽川道路改良工事 現場（秋田市長浜観音道脇地内）

３．対　　象：秋田市立豊岩中学校　１年生　９名

４．実施内容：ドローン操作、測量機器体験、ICT建機の乗車体験

５．主　　催：国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
株式会社 秋田建設工業新聞社

６．取材申込：別紙様式により事前に申込をお願いします(10月18日(水)15:00まで)

７．集合場所：秋田市下浜羽川地内（羽川地区こ道橋下部工工事現場）※別紙参照
雨天の場合は中止となります。
中止の際は、代表者の連絡先へ電話いたします。

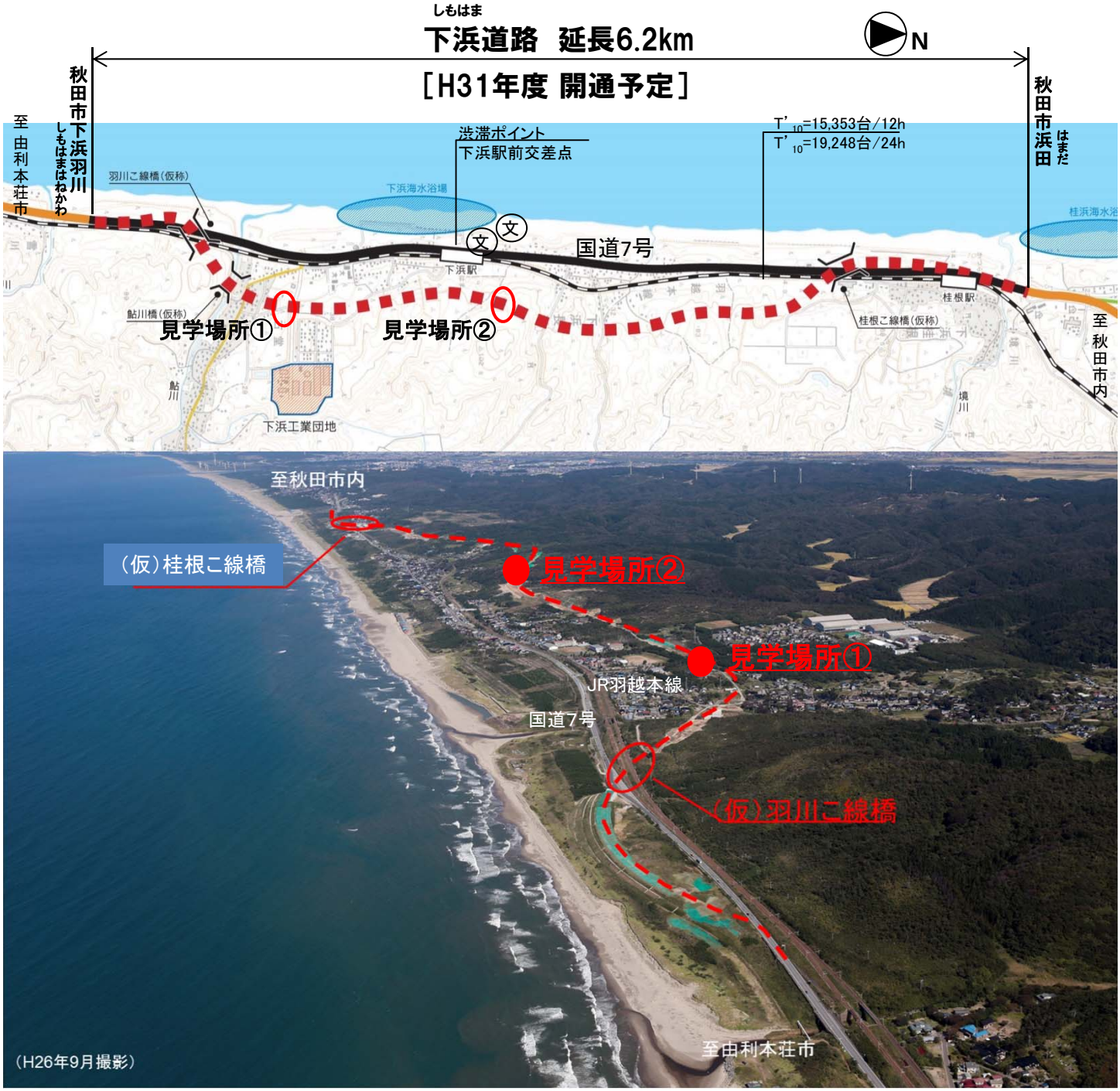
発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

[下浜道路事業に関すること]
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長（道路担当）　田口 和弘　　電話 018-823-4167 (代表)
工務第二課長　　半田 清美　　FAX 018-864-4425

[現場見学に関すること]
株式会社　秋田建設工業新聞社
編集部 部長　　栗谷 卓臣　　電話 018-863-4112 (代表)
FAX 018-863-4319

位　置　図



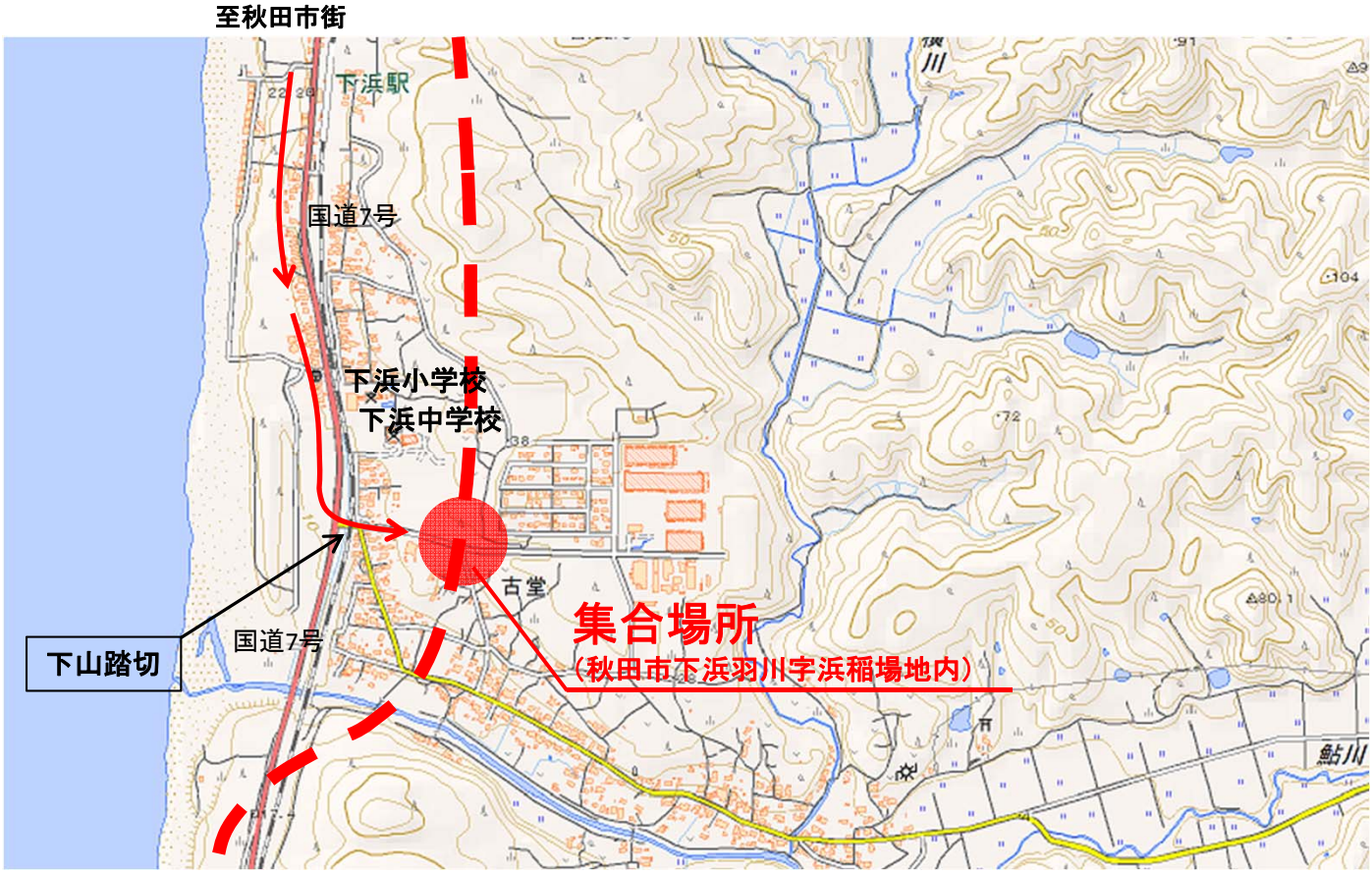
見学場所①

・羽川地区こ道橋下部工工事の現場です。
下浜道路は市道の下を通過するため、市道は橋となります。現在、橋の土台となる下部工を施工中で、橋が出来るまでを説明します。

見学場所②

・下浜羽川道路改良工事の現場です。
ドローンやレーザースキャナといった最新技術の測量機器の操作体験や、ICT建設機械(バックホウ(法面掘削及び法面整形)、ブルドーザ(盛土))への乗車体験をします。

集　合　場　所



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。【承認番号 平29東複 第33号】

［ICT建設機械の施工状況］



▲ICTバックホウ（掘削機械）



▲ICTブルドーザ（盛土機械）



▲ICTローラー（転圧機械）

国土交通省　東北地方整備局
　　秋田河川国道事務所　宛
　　（ＦＡＸ　018－864－4425）

国道7号下浜道路

未来を担う中学生を対象とした現場見学会　取材申込書

取材希望の場合は、この様式を用いて上記連絡先までＦＡＸでお申込み下さい。
申込み締め切り日は、10 月 18 日(水)15：00迄です。

会社名、部署名、人数
取材者　（役職・氏名・連絡先）
①（代表者）
②
③
連絡先（代表者の連絡先：当日連絡がつく電話番号としてください）

国道7号下浜道路　整備効果

①交通混雑の緩和及び交通騒音の減少

・下浜道路の整備により、交通の分散が図られ、海水浴等の観光期をはじめ、通年での混雑緩和及び交通騒音の減少が期待されます。



▲沿道家屋の近傍を走行する大型車



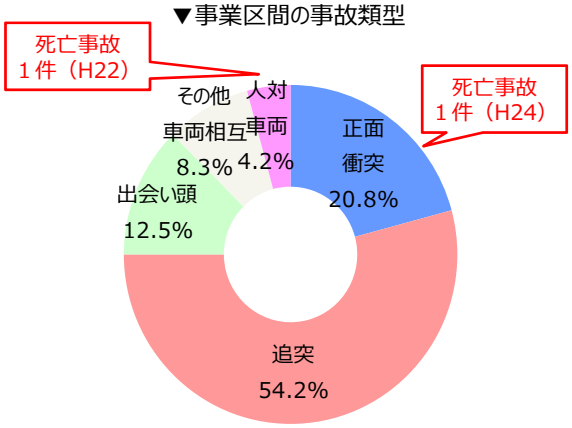
②交通混雑緩和により通学時等の安全性が向上

・下浜道路の整備により、現道の交通混雑が緩和し、通学時等の安全性向上が期待されます。



▲下浜地区の通学状況

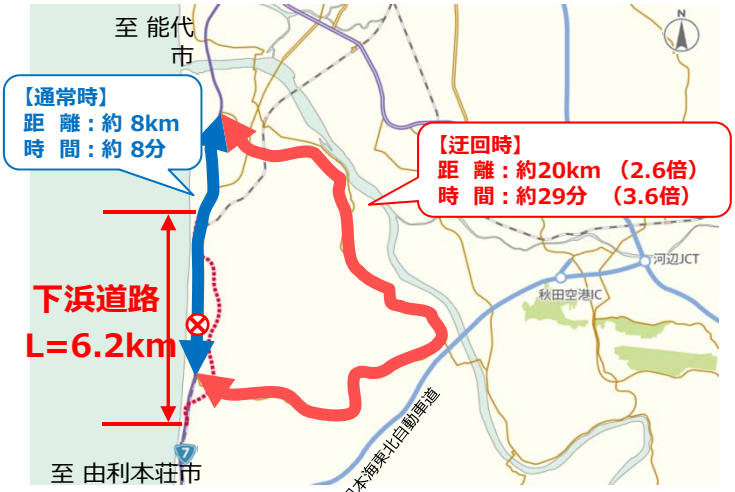
▼事業区間の事故類型



資料：ITARDAデータ（H21～24）

③災害時等の代替路線確保

・災害時等に現道が通故止めになっても、代替路線の確保(下浜道路)により安全安心な通行に寄与します。



資料：H22道路交通センサス 12h平均速度より算出

▲国道７号通行止め時の迂回状況（下山交差点～新屋跨道橋）





▲国道７号電柱倒壊状況（H24年4月）